

# 平成27年度内閣府 地震・津波防災訓練 【北海道日高町】

実施報告書  
(概要版)



 **内閣府**  
Cabinet Office, Government of Japan

11月5日は津波防災の日



**津波防災ひろめ隊**  
2015-2016

わたしたちご当地キャラクターが、津波防災の取り組みを  
多くの方々にひろめるお手伝いをします。

## 北海道日高町について

日高町（ひだかちょう）は、日高管内の西部に位置し、日高山脈の麓に広がる森と清流の日高地区と、牧場の向こうに太平洋が広がる門別地区からなります。

人口は約12,600人、総面積約993km<sup>2</sup>のエリアに山と海の地域特性が数多く輝いています。

今回の訓練を行った門別地区では、特にサラブレッドなどの軽種馬生産が盛んで数々の名馬を輩出しました。また、季節により「ししゃも」を始めとする新鮮な海の幸の宝庫でもあります。現在、日高町では、「健やかで、安心して暮らせるまちづくり」の方針の下、富川東防災広場の新設を始め、様々な防災対策に取り組んでいます。



出典：日高町ホームページ

## 訓練概要

■訓練想定：11月5日午前10時に、十勝沖を震源とするM8.0の大規模な地震が発生、日高町では震度6弱を記録。地震発生直後から津波警報が発表された。日高町は、地震発生後ただちに災害対策本部を設置するとともに、住民に対し防災行政無線等により津波からの避難を呼びかけた。日高町の沿岸地域では、最大9mの津波が押し寄せ、家屋流出や浸水等の被害が発生した。

■実施日時：平成27年11月5日（木）10：00～13：00

シェイクアウト訓練、津波避難訓練	10：00～10：30
情報伝達・避難誘導・安否確認訓練	10：05～10：30
避難所開設・運営訓練	10：10～12：30
ヘリコプターによる訓練、装備品展示	11：00～12：30
炊き出し訓練	10：10～12：30
津波防災啓発イベント	12：30～13：00

■主 催：内閣府、日高町（協力：北海道）

■参加者数：約730名（※防災関係機関等を含む）

■参加機関：各地区の自治会・自主防災組織、わかば保育所地元企業、門別警察署、日高西部消防組合消防本部・消防署 陸上自衛隊第7特科連隊第3大隊、第7飛行隊等

## 当日の訓練内容

### 09:00～ シェイクアウト訓練、津波避難訓練

自らの命は自ら守るという「自助」の取り組みに重点を置いたシェイクアウト訓練を富川・門別本町・厚賀の各地区で、「自助」と相互に助け合う「共助」の取り組みに重点を置いた津波避難訓練を8箇所の一時的避難場所で行い、発災から津波襲来までの避難行動について確認した。

▼シェイクアウト訓練



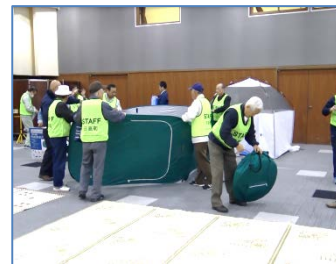
▼津波避難訓練



### 10:10～ 避難所開設・運営訓練

自主防災組織が主体となって、門別総合町民センターに避難所を開設するとともに、日高町の防災備蓄用品の取扱い要領等を実習した。また、約200名の訓練参加者を避難者として、受付・誘導等の避難所運営を行い、避難所に必要な各機能等について体験・確認した。

▼避難所の開設



▼避難所の運営（受付）



### 11:00～ ヘリコプターによる訓練、装備品展示

陸上自衛隊ヘリにより、緊急に必要な物資を富川東防災広場ヘリポートに空輸して町職員・消防への引き継ぎ訓練を行った。また、訓練参加者が同広場で装備品等を見学した。本訓練により新設した富川東防災広場が有効に活用できることを確認した。

▼物資搬送



▼装備品等の見学



### 10:10～ 炊き出し訓練、12:30～ 津波防災啓発イベント

門別総合町民センターにおいて、陸上自衛隊炊事班がカレーを炊き出し、自主防災組織等が配食・臨時食堂の運営を行う等、被災者への配慮を考えた訓練を行った。また、防災啓発イベントには多くの町民が参加し、津波避難ポーズを体験する等、地震・津波防災に関する意識の高揚を図った。

▼炊き出し訓練



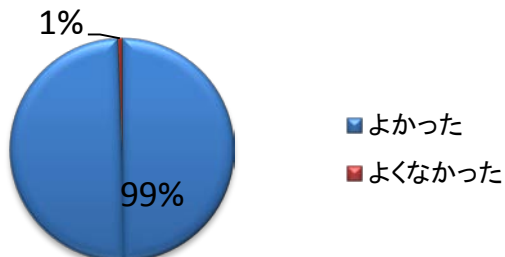
▼津波避難ポーズ



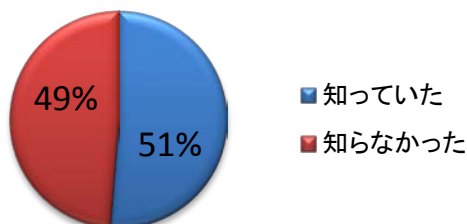
## アンケート結果

住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：181人）

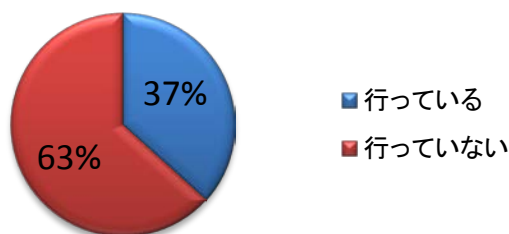
問 訓練に参加してどう思いましたか？  
（回答数：181人）



問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？（回答数：158人）



問 地震等に備えて、食料・水・非常用持出し袋等を準備していますか？（回答数：158人）



## 訓練の評価

訓練当日は、快晴・温暖な天候に恵まれ、保育所の幼児や地域住民等を合わせ約600名、防災関係機関等の要員約130名の合計約730名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、内閣府・日高町長の訓練講評、職員等による所見、地域住民のアンケート結果等を分析し、今後の防災対策や防災訓練の参考となるよう「課題と対策案」として整理した。

この結果、「大変よい訓練だった」、「避難所のイメージが実感できた」、「富川東防災広場のような施設があると災害時に頼もしく感じる」という評価の一方で、次のような課題が指摘された。

- 今回は健常者の避難が主体であったが、実災害時には、様々な理由により避難に際し援助の手を必要とする方がいる。今後は、避難の支援体制等を含め、更に訓練を行っていく必要がある。また、昼夜や、様々な天候・季節（冬季の雪）における訓練も必要である。
- 今回は門別総合町民センターに避難所を開設したが、各地区の施設に避難所を開設・運営するための訓練が必要である。また、今後、今回の訓練のノウハウを生かして、避難所の事前準備をより充実させていく必要がある。